

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24年 11月 12日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4672900133号
法人名	社会福祉法人九十九会
事業所名	グループホーム秋光園
所在地	鹿児島県日置市東市来町360-1 (電話) 099-274-3770
自己評価作成日	平成24年10月5日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成24年10月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入所者の要望に応じて対応できるように、日勤帯は職員4人を配置し外出支援や畑づくり・買物や散歩等の屋外での支援に力を入れております。また月に1～2回は病院受診や散髪。園外活動も行い入所者の皆様に気分転換して頂いております。また入所者一人ひとりの生活暦やペースに合わせて様々な支援を行い、笑顔溢れるグループホームだと思います。また入所者の方々の笑顔により職員も癒され士気を高めることができ、入所者と共に楽しく生活しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

見晴らしの良い住宅地のなか 広い敷地に特別養護老人ホームを中心とした高齢者福祉事業所施設に併設されている。隣接した敷地(で)はグラウンドゴルフや保育園の運動場に使用され地域との交流の場となっている。職員は常に利用者本位のケアに努め、月一回の会議で提案された意見は記録を残し全職員が共有し実践している。また職員同士のコミュニケーションもよく笑顔の堪えない職場であり、管理者は職員の勉強会にも積極的で、働く者の意識を向上させている。法人で行われる行事に地域の方の参加や協力をもらい、また法人の運営する福祉事業所との交流も大切にし、地域に根ざしたグループホームが行われている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域との関わりを大切にし、また入所者の方々が毎日笑顔で暮らせるように職員全員で取り組んでいます。	3年前に全職員で作った理念は多くを掲げるのではなく、全員で共有と実践を目指すため、一つに絞っており、事業所内のくつろげるホールなどに掲示し、笑顔を意識した取り組みを実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	週2回は入所者と一緒に町内の精肉店や鮮魚店、スーパーに買物に行っております。また散髪も町内にある美容院や理髪店を利用しております。	隣接した法人グループの利用者との交流や、広い敷地で行われるグラウンドゴルフに訪れる住民と挨拶を交わしたり、また地域の文化祭には利用者で作成したちぎり絵を出展、看護実習のボランティアの受入れ、事業所の行事にも参加してもらい地域と繋がりがながら暮らし続ける支援となっている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	園外活動や買物、病院受診や散歩を通じて地域の方々とふれあう機会を作っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の運営推進会議では、入所者や家族の他、地域の自治会長や民生委員の方また、日置市の介護保険課の職員の方にも参加して頂き、近況報告や意見交換を行っております。	園長・副園長を交えた運営推進会議は市町村・家族・利用者・管理者・民生委員・他事業者の職員を交え話し合いを行い、出された意見は全職員で共有し、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議にも参加して頂いている介護保険課の方に日頃から相談やアドバイスして頂きながらより良いサービスが提供できるように取り組んでおります。	市町村から届いた情報は連絡ノートに記し職員全員で共有を図っている。市の部会で事業所の実情の相談や、待機者報告などを行い、アドバイスをもらいながら連携を深めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年に3回、施設長や事務長。管理者や計画作成担当で身体拘束廃止委員会を開催し現状報告を行い、また毎月の会議の中で職員全員が身体拘束をしていないか？確認しながら実践しております。	指定基準における禁止の対象となる具体的な行為を職員は正しく理解しており、玄関も施錠せず声かけで出入りをし、ヒヤリハットでの教訓も活かし、ベッド下のセンサーで利用者の安全確認を行っている。また利用者が外出したがる時は散歩に同行しさりげない見守りを実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年に1回、職場内研修を行い、また毎月の会議でも入所者の言動や身体の異変などがないか？注意しながら虐待のないように、日頃から職員一人ひとりが注意しながらケアを行っております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	年に1回、職場内で行われる全体会議の中で研修を行い学んでおります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関する説明は管理者を含め必ず職員2人で対応し説明不足のないように注意しながら、入所者やその家族の方の同意を得た上で契約の締結や解約を行っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入所者には日頃から、御家族には面会時や家族会の時など職員が様々な意見や要望などを受け入れ、その都度話し合い反映できるようにしております。	年2回家族会にも参加してもらい、クリスマスやソーメン流しの行事や家族の面会時に意見・要望を聞いている。出された意見は連絡ノートに記し、申し送り職員は共有し家族などの意見の反映に努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1～2回は、グループホーム会議を行い職員全員の意見や提案・要望等を聞き、日々の業務に役立てております。	月一回職員会議を行い、困ったことや不安に思ったこと、また利用者の状況や実情をそのつど代表者や管理者に伝え、聞いてもらっている。職員同士でも気軽に話し合える環境であり、職員の意見が反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場環境や条件の整備については、人それぞれ考え方が違いますが、特に給与水準についてはほぼ全職員が見直して欲しいとの声があります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>積極的に研修には参加してもらい、その後は職場内の会議の際、研修に参加した職員に復命報告を行ってもらい他の職員にも知識や情報が共有できるようにしております。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県や市のグループホーム協議会に加入しており、定期的開催される研修会で他の事業所と情報交換を行いながら、より良いサービスが提供できるように努めております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
た					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者本人と御家族にも参加して頂き要望を聞きながら利用者の方はもちろん御家族も安心して生活できるようにサービスを開始しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	必ずサービス担当者会議を開催し御家族との話し合いながら要望や意向に十分副えるように努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者本人と御家族の要望を聞きながら、その時々合った対応を見極めながら支援しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は入所者の方々から昔ながらの知恵や風習などを教えていただきながら四季おりおりの料理や行事を取りいれております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族と綿密に連絡をとりながら入所者の体調や近況をお便りや電話で報告しております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所後も本人の要望があれば、町内の行きつけの美容院や床屋を利用して頂いております。	知人、友人の訪問を受けたり、手紙の支援、また家族の方と墓参りや水族館などに行ったり、利用者の希望する場所での買い物に同行し近所の方と会話を楽しんでいる。なじみの関係が途切れない支援が伺える。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入所者同士の相性を配慮しながら食堂での席かえを行い入所者間のトラブルが起きないようにまた入所者全員が笑顔で暮らせるように努めております。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終結しても、その後の様子や所在を確認しながら、相談に応じております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所者本人の要望や意思確認を行いながら、できる限り本人の意向に副えるように努めております。	一人ひとりの思いや希望を聞き意向の把握をし、意思疎通の困難な方は、顔の表情やしぐさで判断している、利用者がその人らしく暮らし続けるための取り組みを職員で話し合いながら検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所後もこれまでの本人の生活歴や生活環境を確認しながら本人が不安なく生活できるように支援しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入所者一人ひとりの生活機能レベルに合わせて本人の要望や意向に副って1日を過ごしていただいております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にサービス担当者会議や3ヶ月おきにケアプランのモニタリングを行い利用者本人やご家族の要望等取入れ現状に即したプランを作成しております。	月に一回の職員会議で気づきや、意見、アイデアを出しながら、また家族や利用者の希望を聞き、主治医の判断も取入れ、介護計画を作成している。家族の要望や変化が生じた場合には介護計画の見直しをなされ現状に即した取組みを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護日誌や職員間の連絡ノートを利用し様々な情報や気づきを記入し、それを職員全員が必ず確認するようにしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者のニーズに応じて臨機応変にサービスや支援方法を取り入れております。（外出や自宅の草取りや一時帰宅）		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	週2回は入所者と一緒に町内の精肉店や鮮魚店、スーパーに買物に行き外出を楽しんでおられます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	御家族入所者本人の希望を聞いた上で、病院・主治医を決め看護師が医療の連携を行いながら受診支援を行っております。	定期受診は入所前のかかりつけ医に職員が対応し、歯科や眼科などの専門受診は家族に同行してもらっている。結果報告は電話で情報の共有を図り、重症の場合は病院でおち合うなど、適切な医療を受けられる体制である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	グループホーム所属の看護師が日常的に入所者の健康状態を確認し・記録を行い適切に受診ができるように支援しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入所者の方が入院中はDrやSW、御家族とも綿密に連絡をとりながら早期退院に向けての支援を行っております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所契約時、終末期や緊急搬送時の処置等の対応についての取り決めを管理者、計画作成担当者や看護師も同席し御家族とご本人の意思確認を行い方針を共有し支援しております。	入所時、重度化や終末期に向けた対応について説明し、家族や本人の希望を聞きながら段階的に話し合っている。ターミナルケアについても文章化し家族の同意を得ている。管理者、職員は家族や医療関係と連絡を取りながら終末期に向けた支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急対応や急変時の対応については看護師がマニュアルをつくり、また臨機応変に対応できるように会議等で話し合ったり救命講習も定期的を受けております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練は行っておりますが、夜間帯に災害が発生した場合は不安があり、もっと地域の方との協力体制を築く必要があると思います。	消防署の指導のもと、年2回特老と合同で避難訓練をしている。今年度は夜間想定での訓練も実施し、スプリンクラーや非常食、毛布なども備蓄されているが、2ユニットが離れているため、地域住民の協力体制を検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	必ず入所者一人ひとりの意思確認を行い同意を得た上で支援を行い、また言葉かけには日頃から気をつけ対応しております。	一人ひとりの尊厳と権利を守るためプライバシーの確保に全職員が理解し、トイレ誘導の声かけや視線を合わせた話し掛けなど配慮している。個人情報も管理者で管理され、職員は人格を尊重するケアを常に模索している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入所者の能力に応じて意思確認を行い、また感情の表出や顔の表情にも注意して入所者本人が自己決定できるように働きかけております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入所者の意向を尊重し、できる限り希望にそった支援ができるように日勤帯の職員を4名配置しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入所者の能力に応じて一部介助や全介助を行いながら身だしなみやおしゃれができるように支援しております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入所者の能力におうじてできること（もやしの根とりや食器類の後かたづけやテーブル拭き等）を意思確認を行いながら職員と一緒に手伝って頂いております。	利用者の好みに合わせ、職員が交代で献立表を作成し、利用者の出来る力を活かしながら食事の準備や片付けをしている。畑で取れた食材で四季を感じたり、外食も利用者の楽しみとなっており、食事を楽しむことのできる支援である。	2ユニットとも、きざみ食やミキサー食の方も多いため、食べる前に原型を見せたり、嚥下体操や音楽を流すことで、更なる食事を楽しむ支援となることを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入所者一人ひとりの食事摂取能力や栄養面を考え、食事形態や水分確保にも十分注意しながら支援しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入所者の能力に応じて一部介助や全介助を行いながら清潔保持できるように支援しております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入所者の残存能力に応じて言葉かけやトイレ誘導を行い一部介助や全介助での支援を行い残存機能の低下がないように気をつけております。	一人ひとりの排泄チェック表でパターンを把握し、声かけ・誘導・見守り、自立に向けた排泄支援をしている。また夜間排泄の自立に向けてトイレの近くにベッドを移動する工夫もされており、リハビリパンツから布パンツになった利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	特に入所者の排便コントロールには力を入れ全入所者が1～3日に1回は排便はあるように便秘予防に取り組んでおります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入所者全員が週に3回入浴できるように支援しておりますが入浴日の時間帯は設定されているのが現状です。	利用者は週3回入浴が出来る支援であるが、家族や本人の希望で毎日入浴も楽しんでいる。入浴できない利用者は清拭を行い脱衣所は温度差をなくす配慮もされ、気分転換に入浴剤を入れたり、入浴を楽しむことのできる支援である。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入所者一人ひとりが安心して眠れるような言葉かけを行い、また寝具等も入所者の生活習慣に合ったものを提供しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の増量や種類変更になった時は必ず状態観察を行い記録にも残し情報の共有ができるようにしております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入所者一人ひとりの能力や希望に応じて、買物や散歩、畑作りや自宅の様子を見に行ったりと気分転換等の支援を行っております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出支援には特に力を入れており入所者の要望に対応できるように職員を配置し戸外に出かけられるように支援しております。	天気の良い日は一人ひとりの希望にそって、散歩や美容院に出かけたり、買い物も職員と同行して楽しんでいる。墓参りの帰りには家族と外食を楽しみ、隣接するデイサービスの夏祭りなどに車椅子の方も参加している、日常的な外出で五感刺激を受けられる支援となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入所者の金銭管理能力に応じて自己管理をして頂き、紛失等のないように所持金の確認を定期的に行いながら、買物の際にはご自分の財布から支払いをして頂いております。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>入所者の能力に応じて電話での会話や手紙のやり取りをして頂いております。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>食堂には長椅子を置き入所者が好きな場所で居心地良く過ごせるように、またテーブルには季節の花を飾り季節を味わえるようにしております。</p>	<p>事務所とホールの前に玄関があり来訪者や家族、利用者の出入りが確認できる作りである。両サイドの広い廊下には利用者の作品のちぎり絵が飾られ、大きな窓から日差しの入り込む空間である。利用者はホールでゲームやテレビを観たり、ソファでくつろぎ、職員と会話を楽しんでいる。室温調整もされ居心地よく過ごせる工夫がされた共用空間になっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食堂では、気の合った入所者同士が会話を楽しんだり、また長椅子や食堂の自分の席でテレビを見たりして思い思いに過ごされています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅にあったイスやテーブル、仏壇等も居室に置き、本人が居心地良く過ごせるようにしております。	居室は明るく広く、各部屋にトイレと洗面所が設置されている。使い慣れた家具・テレビ・椅子、ベッドなど、本人の使いこちの良い状態で配置され、家族の希望で加湿器を持ち込む利用者もいたり居心地よく過ごせる配慮が伺える。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入所者が分かり易いように居室やトイレに案内書きをしたり転倒防止のため手すりの増設やベットの位置を変えたりし安心して生活がおくれるに支援しております。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない